

審 議 結 果 速 報

(令和3年12月21日)

陳情3年地域づくり第27号

鳥 取 県 議 会

文 書 表

議 会 資 料

陳情（新規）・地域づくり県土警察常任委員会

受理番号及び 受 理 年 月 日	所 管	件 名	議決結果
3年－27 (R3.11.24)	地域づくり	比例代表を中心とする選挙制度の確立を求める意見書の提出について	不 採 択 (R3.12.21)
▶陳情事項 鳥取県議会から国に対し、比例代表を中心とする選挙制度の確立を求める意見書を提出すること。			

▶陳情理由 先の総選挙では、自民党が衆院定数（465）の56％を占める261議席を獲得し、「絶対安定多数」となった。 今回の選挙で、有権者数は、1億562万2860人で、そのうち5900万人余りが投票した（投票率55.93％）。引き続き政権与党となった自民党は、小選挙区で48.4％の票を獲得し、全289小選挙区の65.4％に当たる189議席を獲得した。比例代表での自民党の得票率は34.7％だった。 一方、小選挙区で落選候補に投じられ、有権者の投票が議席獲得につながらなかった「死票」は総計で約2673万票（46.5％）と、投票の4割強が死票になっていることがわかる。 現在の選挙制度は、小選挙区制と、比例代表制を組み合わせた、小選挙区比例代表並立制であるが、小選挙区中心の選挙制度は、得票が1票でも多ければ議席が獲得でき、残りは多くが「死票」になるデメリットを持っている。有権者の意思がきちんと反映される、比例代表中心の選挙制度の構築を求めることが大切である。
▶提 出 者 倉吉市 個人

▶所管委員長報告（R3.12.21本会議）会議録暫定版 衆議院における現行の選挙制度については、小選挙区制、比例代表制それぞれの特性を踏まえて、組み合わせる方式によることが適当とされているものであることから、不採択と決定いたしました。

現 状 と 県 の 取 組 状 況

執行部提出参考資料

地域づくり推進部（市町村課）

【現 状】

- 1 公職選挙法の規定により、衆議院議員の定数は465人とし、そのうち289人を小選挙区選出議員、176人を比例代表選出議員とすると定められている。
- 2 衆議院の選挙制度については、従来の中選挙区制が同一政党の候補者間による争いになり、選挙が政策の争いというより個人間のサービス合戦につながりやすいという指摘があったことを踏まえ、これを抜本的に改革することとし、政策本位、政党本位の選挙の実現を目指すため、平成6年に現行の小選挙区比例代表並立制に改められたものである。
- 3 当時の政治改革の議論については、内閣総理大臣の諮問機関である第8次選挙制度審議会（平成元年6月設置）において審議が重ねられたものであるが、同審議会が平成2年に提出した「選挙制度及び政治資金制度の改革についての答申」においては、小選挙区制度と比例代表制度のそれぞれの特性として、次のとおり指摘している。
 - ・小選挙区制には、政権の選択についての国民の意思が明確なたちで示される、政権交代の可能性が高い、政権が安定するなどの特性があるが、その反面、少数意見が選挙に反映されにくいという問題がある。
 - ・比例代表制には、多様な民意をそのまま選挙に反映し、少数勢力も議席を獲得しうるという特性があるが、その反面、小党分立となり連立政権となる可能性が大きいため、政権が不安定になりやすいなどの問題がある。
- 4 その上で同答申は、「時代の変化に即応する政治が行われるためには、民意の正確な反映と同時に、民意の集約、政治における意思決定と責任の帰属の明確化が必要である。また、活力ある健全な議会制民主政治のためには、政権交代により政治に緊張感が保たれることが必要である。このような要請を満たすうえで、小選挙区制と比例代表制とを比較するとき、小選挙区制がこれらの要請によりよく適合するものと認められる。しかしながら、小選挙区制、比例代表制それぞれのみでは、先に述べたような問題もあるので、小選挙区制と比例代表制を組み合わせる方式によることが適当であると考えられる。」と結論付けている。
- 5 なお、現行制度を導入した平成6年の改正においては、総定数500人、そのうち小選挙区選出議員300人、比例代表選出議員200人と定められていたが、その後の数次にわたる改正の結果、現在の定数に至っている。

【県の取組状況】

- 1 公職選挙法の定めに基づき、県選挙管理委員会において、国の選挙について都道府県が処理することとされている事務の管理を行っている。
- 2 令和3年10月31日執行の第49回衆議院議員総選挙の投票率（小選挙区選挙）は58.16%、小選挙区ごとの候補者別得票数は次のとおりであった。
 - （1）鳥取県第1区 得票数合計 125,426 票 うち当選者の得票数 105,441 票
 - （2）鳥取県第2区 得票数合計 138,952 票 うち当選者の得票数 75,005 票